

## (4) 代替路としての機能

### 事故発生時の迂回機能

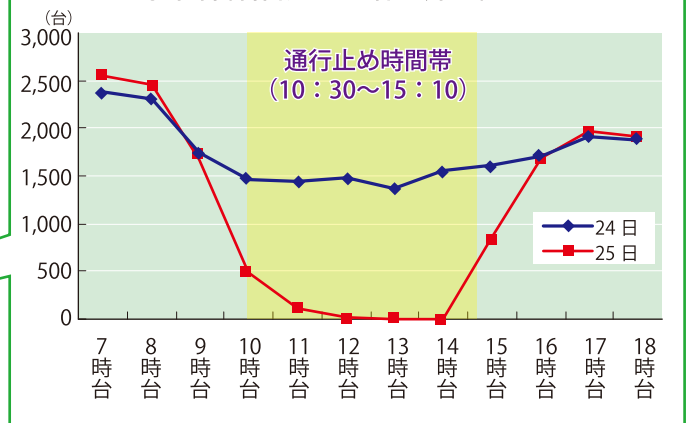
- 2006年7月25日、東名高速道路(名古屋IC付近)上り車線で事故が発生し、東名高速道路(名古屋IC～春日井IC)間が約5時間通行止めになりました。
- 通行止め時間帯においては、東海環状自動車道及び伊勢湾岸自動車道の交通量が増加し、環状道路の機能の一つである「非常時の迂回機能」が発揮されました。

#### ● 通行止め時の交通量の変化

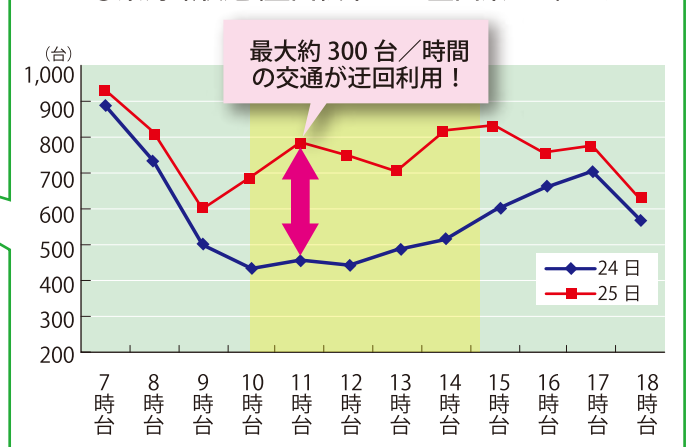
東海環状道を利用して  
通行止め箇所を迂回



① 東名(名古屋IC～春日井IC)上り



② 東海環状道(豊田松平IC～豊田東JCT)上り



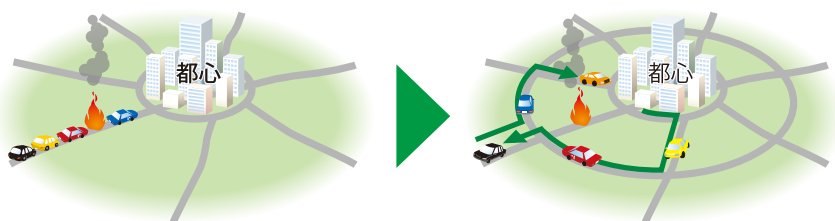
2006.7.25 朝日新聞夕刊



#### ● 今回実証された環状道路の機能

##### 緊急時の迂回機能

災害、事故や工事規制などで一部区間の不通や混雑があった場合の迂回誘導機能



## 集中工事中の迂回機能

- 東名高速道路（東京 IC～小牧 JCT 間）において、2006 年 10 月 10 日（火）0 時～20 日（金）12 時（14 日（土）、15 日（日）は工事休止）まで、東名集中工事（本線をほぼ全線に渡る規制が必要）が実施されました。
- 東名集中工事期間中の交通量を 9 月（前月）の交通量\*と比較すると、中央自動車道が東名高速道路の迂回ルートとして利用されたことから交通量の増加がみられました。また、東海環状自動車道の交通量も増加しており、環状道路により迂回交通の交通分散が図られました。
- さらに、2005 年度と 2006 年度の工事期間中の平均交通量を比較すると、東海環状自動車道および中央自動車道で交通量が増加しており、交通の分散・迂回機能の強化がみられます。  
\*9 月の平日及び土日祝日の日平均交通量

### ●集中工事期間中の交通量の変化

